

# 国道指定と整備

昭和57(1982)年に法律で指定されたことで、国道400号は誕生しました。市内では塩原新道の多くの区間が国道になり、国道指定後は防災や混雑解消のため、さまざまな場所でバイパスやトンネルの整備が進められてきました。特にここ数十年は、多くの箇所で行われています。



**6**昭和63(1988)年10月  
尾頭トンネル開通  
塩原新道開通から100年以上が経過し、三島通庸悲願の会津方面との円滑な接続が現実となった

**4**平成23(2011)年9月  
下塩原バイパスがま石トンネル開通  
旧道は「大正浪漫街道」として生まれ変わった



**3**昭和49(1974)年12月  
西那須野塩原インターチェンジ開通



平成23(2011)年9月  
中塩原バイパス開通

**5**令和4(2022)年3月  
下塩原バイパス潜竜峡トンネル開通  
崖が多い道路を避けて塩原地区への往来が可能に



**2**道路拡幅工事が進む西三島地内



**1**平成21(2009)年3月  
大田原西那須野バイパス全線開通  
混雑しがちな市街地を避けたことで、旧国道400号に比べて5分以上通過時間が短縮された



国道400号は、西那須野地区から塩原方面に向かうにつれ、市街地エリアから山間部エリアに一気に変化します。山間部では、落石や土砂などによる災害や、新緑や紅葉の時期の観光客などによる混雑が問題となります。この問題の解消のために、バイパス整備やトンネル工事が行われてきました。今年3月には下塩原バイパス潜竜峡トンネルが開通し、ますます進化する国道400号。現在も西三島地区の拡幅工事など、さらなる整備が進められています。

## 大雨時の事前通行規制区間が変わりました

下塩原バイパス区間は、連続雨量200ミリを超過しても規制はかからず通行が可能です。

ただし、従来の道路(下塩原バイパス開通前に通行していた道路)の事前通行規制は継続します。大雨時には注意して走行してください。

▶問い合わせ  
県大田原土木事務所保全部  
☎0287(23)6544